

基礎・応用研究開発or実用化研究開発or政策課題解決型研究開発 (H16)

## 「まちづくりシミュレーションによる合意形成システムの開発」

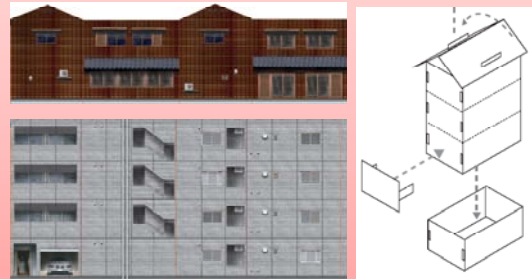
早稲田大学理工学術院 後藤春彦 教授

## — 研究開発概要 —

景観法制定を背景に景観まちづくりの気運が高まっている。住民自治による市民参加型まちづくりの熟度も増してきている。都市計画提案制度等まちのルールづくりを市民自らが手がける成熟化社会を迎えている。こうした背景のもと、市民が自らまちの将来像を描き、コミュニティで将来像を共有し、合意形成をはかり、将来像の実現へむけてまちづくりをすすめるための「支援ツール」、「支援技術」、「支援システム」を開発することをめざした。その結果言葉と数値による合意形成ではなく、視覚情報による合意形成の可能性をひらいた。

## 研究内容(1)

景観シミュレーションモデルのパッケージ化



## 研究内容(2)

情報プラットフォームデータベース化



## 研究内容(3)

活用実践プログラムをシステム化



## — 研究開発成果・今後の展開 —

典型的な木造密集市街地を再現するための建築タイプを抽出し、紙箱仕様の組立式模型を開発した(容易な操作性、高い触知認知性、安価なコスト)。

合意形成のプロセスをシミュレートすることを可能とし、景観シミュレーションからまちづくりのシミュレーションへ適応範囲を拡大した。

自律した市民社会の運営をめざし、web上に公開するまちづくり支援情報基盤を構築した。

「合意形成システムに適合した計画言語の開発」が今後の課題としてあげられる。

